
第76期 年次報告書

(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)



証券コード5697

株式会社サンユウ

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2022年3月31日をもって第76期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス変異株による感染拡大及び年度末のロシアによるウクライナへの軍事侵攻などの影響により依然として先行き不透明な状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界（当業界）の主要需要家である自動車業界におきましては、新型コロナウイルスの影響により半導体や東南アジアからの部品の調達に支障が生じたため、生産の一部遅延などの影響が発生いたしました。建産機業界におきましては、概ね回復傾向が続きしました。その結果、2021年暦年における当業界の生産量は1,743千トンと前年に比し309千トン増加いたしました（前年比21.6%増）。

一方で各種原料の高騰を受け、鋼材価格は2度の値上げにより35千円/トンの価格上昇となり、また、電力などのエネルギー及び副資材も大幅な値上げとなりました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて販売数量の拡大、固定費の抑制及び生産性の向上を推し進めるとともに、鋼材価格の値上げに伴う販売価格の改定及び加工賃は正に努めて収益の確保に取り組みました。

これらの結果、販売数量は拡大し113千トン（前期比11.3%増）、売上高は21,070百万円（同22.9%増）と増収となり、損益につきましては、売上高の増加とトン当たり製造経費の減少に伴い、営業利益は1,072百万円（同627.4%増）、経常利益は1,165百万円（同229.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は669百万円（同493.9%増）と増益となりました。

なお、事業部門ごとの業績は次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は71千トンとなり、売上高は14,246百万円（同25.8%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は42千トンとなり、売上高は6,824百万円（同17.3%増）となりました。

当連結会計年度に実施した当社グループの設備投資の総額は少額投資を中心に252百万円となり、これらの資金は自己資金及び借入金にて賄いました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、引き続き新型コロナウイルスの感染抑制策を講じつつ、活動レベルの正常化を図っていくことが予想されますが、一方でウクライナ情勢を含めた海外経済の不透明性などの懸念要因があり、楽観視できない状況にあります。

当業界につきましても、主要需要業界である自動車・建産機分野において需要は回復基調にありますが、各種原料の上昇を背景とした鋼材価格の更なる値上げ並びにエネルギー及び副資材の価格上昇によるコストへの影響が懸念されます。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、保有する生産設備の効率の且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携を一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用し、連結収益の最大化を追求する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長 西野 淳二

事業の内容

●生産

大阪府内の2工場及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。枚方市にある本社工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいべき引抜きダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しています。また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。(株)サンユウにおきましては、ISO9001及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要だけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では出入庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっています。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、(株)サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ(株)及び大同磨鋼材工業(株)の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

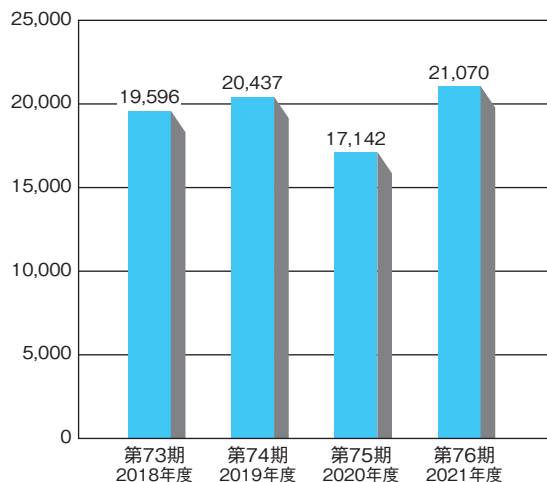
みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜き加工等により生産しています。冷間引抜き加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜きダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜き―矯正）工程または（表面切削（ピーリング）―矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜き機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜き機（ドローベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜き機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

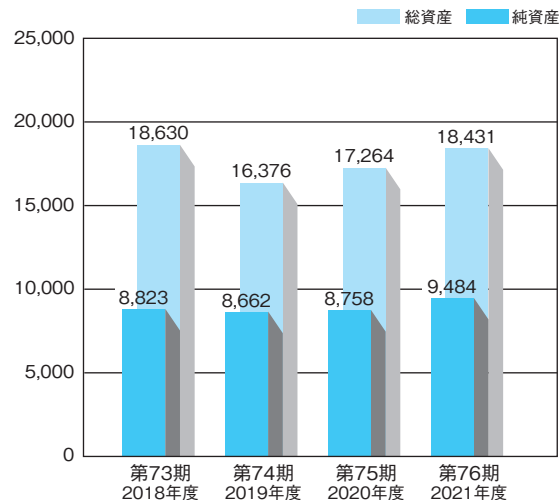
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

連結業績の推移

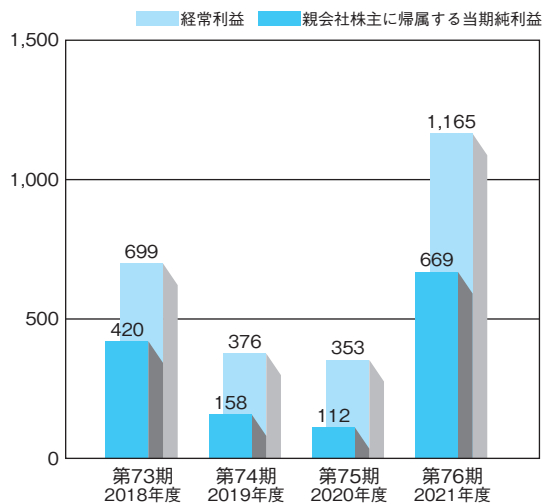
売上高 (単位:百万円)



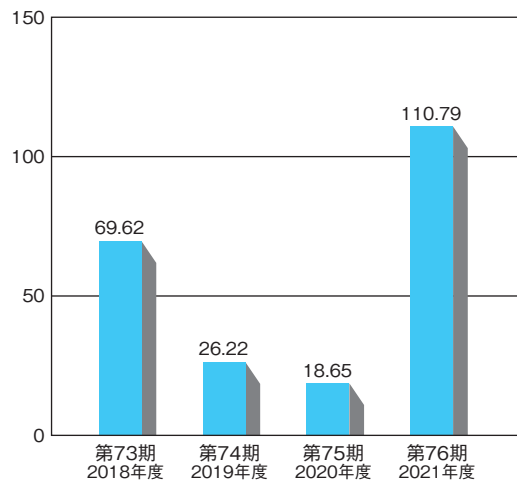
総資産・純資産 (単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表（2022年3月31日現在）（単位:千円）

科 目	金 額
[資 産 の 部]	
流 動 資 産	13,300,904
現 金 及 び 預 金	2,969,585
受取手形及び売掛金	5,808,855
棚 卸 資 産	4,451,744
そ の 他	70,718
固 定 資 産	5,130,646
有 形 固 定 資 産	4,776,376
建 物 及 び 構 築 物	1,278,518
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	1,486,016
土 地	1,865,970
そ の 他	145,871
無 形 固 定 資 産	82,418
投 資 そ の 他 の 資 産	271,851
資 産 合 計	18,431,551
[負 債 の 部]	
流 動 負 債	8,018,656
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	5,227,990
短 期 借 入 金	1,484,360
1年内返済予定の長期借入金	174,966
そ の 他	1,131,339
固 定 負 債	928,577
長 期 借 入 金	693,626
退 職 給 付 に 係 る 負 債	108,240
そ の 他	126,710
負 債 合 計	8,947,233
[純 資 産 の 部]	
株 主 資 本	8,775,900
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,303,508
利 益 剰 余 金	5,980,097
自 己 株 式	△ 21,392
その他の包括利益累計額	5,330
その他有価証券評価差額金	5,330
非 支 配 株 主 持 分	703,086
純 資 産 合 計	9,484,317
負 債 ・ 純 資 産 合 計	18,431,551

(注) 1. 連結子会社は、大阪ミガキ株式会社及び大同磨銅材工業株式会社の2社であります。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 13,162,496千円

連結損益計算書（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）（単位:千円）

科 目	金 額
売 上 高	21,070,268
売 上 原 価	17,720,866
売 上 総 利 益	3,349,402
販売費及び一般管理費	2,276,756
営 業 利 益	1,072,646
営 業 外 収 益	117,640
営 業 外 費 用	25,004
経 常 利 益	1,165,283
特 別 利 益	4,920
特 別 損 失	14,607
税金等調整前当期純利益	1,155,595
法人税、住民税及び事業税	439,256
法 人 税 等 調 整 額	△ 58,951
当 期 純 利 益	775,290
非支配株主に帰属する当期純利益	105,594
親会社株主に帰属する当期純利益	669,695

(注) 1株当たり当期純利益 110円79銭

連結キャッシュ・フロー計算書（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）（単位:千円）

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,447
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 200,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 661,110
現金及び現金同等物の減少額	△ 601,853
現金及び現金同等物の期首残高	3,571,438
現金及び現金同等物の期末残高	2,969,585

連結株主資本等変動計算書（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）（単位:千円）

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,513,687	1,303,508	5,346,668	△ 21,392
当期変動額				
剰余金の配当			△ 36,267	
親会社株主に帰属する当期純利益			669,695	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）				
当期変動額合計	—	—	633,428	—
当期末残高	1,513,687	1,303,508	5,980,097	△ 21,392

	株主資本	その他の包括利益累計額 その他有価証券 評価差額金	非支配株主持分	純資産 合計
	株主資本合計			
当期首残高	8,142,471	5,348	610,669	8,758,489
当期変動額				
剰余金の配当	△ 36,267			△ 36,267
親会社株主に帰属する当期純利益	669,695			669,695
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		△ 17	92,416	92,398
当期変動額合計	633,428	△ 17	92,416	725,827
当期末残高	8,775,900	5,330	703,086	9,484,317

個別財務諸表の要旨

貸借対照表（2022年3月31日現在）

（単位：千円）

科 目	金 額
[資 産 の 部]	
流 動 資 産	10,020,751
現 金 及 び 預 金	1,859,244
受取手形及び売掛金	4,695,132
棚 卸 資 産	3,388,393
そ の 他	77,980
固 定 資 産	5,786,150
有 形 固 定 資 産	3,719,122
建 物 及 び 構 築 物	1,162,349
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	1,147,244
土 地	1,337,540
そ の 他	71,987
無 形 固 定 資 産	40,982
投 資 そ の 他 の 資 産	2,026,045
資 産 合 計	15,806,901
[負 債 の 部]	
流 動 負 債	6,715,297
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	4,802,773
短 期 借 入 金	1,080,000
1年内返済予定の長期借入金	80,700
そ の 他	751,823
固 定 負 債	615,241
長 期 借 入 金	484,200
退 職 給 付 引 当 金	63,835
そ の 他	67,206
負 債 合 計	7,330,538
[純 資 産 の 部]	
株 主 資 本	8,471,099
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,317,207
利 益 剰 余 金	5,661,597
自 己 株 式	△ 21,392
評 価 ・ 換 算 差 額 等	5,263
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	5,263
純 資 産 合 計	8,476,362
負 債 ・ 純 資 産 合 計	15,806,901

（注）有形固定資産の減価償却累計額

10,694,776千円

損益計算書（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）（単位：千円）

科 目	金 額
売 上 高	16,872,380
売 上 原 価	14,922,657
売 上 総 利 益	1,949,723
販売費及び一般管理費	1,387,861
営 業 利 益	561,862
営 業 外 収 益	123,632
営 業 外 費 用	19,953
経 常 利 益	665,540
特 別 損 失	10,615
税 引 前 当 期 純 利 益	654,924
法人税、住民税及び事業税	232,658
法 人 税 等 調 整 額	△ 33,349
当 期 純 利 益	455,615

（注）1株当たり当期純利益

75円38銭

会社の概要

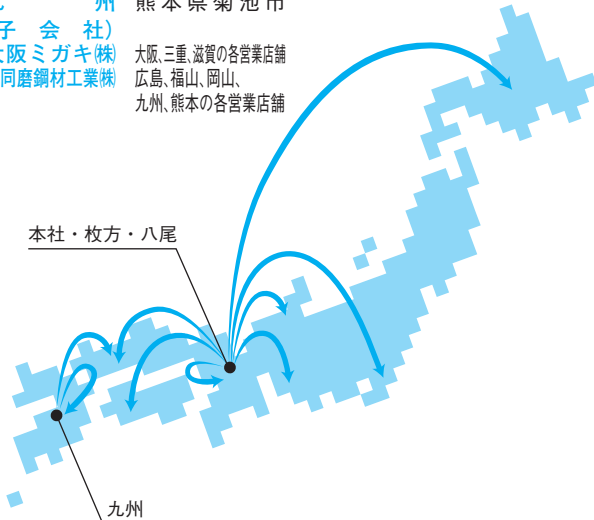
2022年3月31日現在

社 名 株式会社サンユウ
所 在 地 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号
電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672
設 立 1957年1月
資 本 金 1,513百万円
従 業 員 数 192名（単体）、296名（連結）
事 業 内 容 みがき棒鋼の製造、加工及び販売
冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売

主な事業所及びネットワーク

2022年3月31日現在

本 社 大阪府枚方市
(営業店舗)
枚 方 大阪府枚方市
八 尾 大阪府八尾市
九 州 熊本県菊池市
(工場)
本 社 大阪府枚方市
八 尾 大阪府八尾市
九 州 熊本県菊池市
(子会社)
大阪ミガキ(株) 大阪、三重、滋賀の各営業店舗
大同磨鋼材工業(株) 広島、福山、岡山、
九州、熊本の各営業店舗



重要な子会社の状況

2022年3月31日現在

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	67.5%	みがき棒鋼の製造及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

役 員

2022年6月29日現在

代表取締役社長	西 野 淳 二
取締役副社長	喜 多 章
取 締 役	加 藤 和 彦
取 締 役	水 野 由 実
取 締 役	清 水 良 寛
取 締 役	若 林 嘉 幸
常 勤 監 査 役	生 方 徹
監 査 役	藤 田 典 明
監 査 役	仲 山 隆 之
上 席 執 行 役 員	松 井 亮 一
上 席 執 行 役 員	八 木 信 郎
執 行 役 員	大 槻 晃 弘
執 行 役 員	笹 山 英 俊
執 行 役 員	向 井 徹
執 行 役 員	安 積 光 治
執 行 役 員	河 村 岳 史

(注) 1. 取締役清水良寛及び若林嘉幸の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役生方徹、藤田典明及び仲山隆之の3氏は社外監査役であります。
3. 2022年6月29日付をもって、大木光一氏は顧問に就任いたしました。

株式の状況

2022年3月31日現在

発行可能株式総数 19,344,000株
発行済株式の総数 6,091,000株

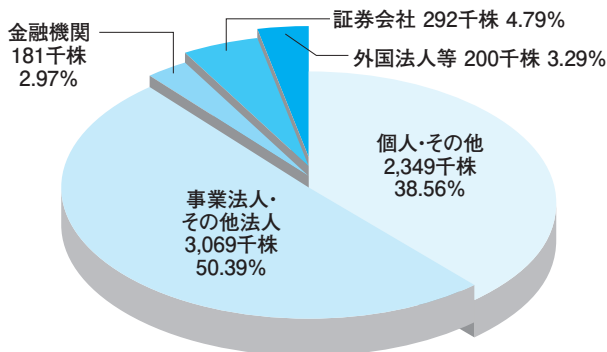
株 主 数 1,526名

大 株 主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	452	7.49
日鉄物産株式会社	250	4.14
村 岡 克 彦	232	3.84
永 田 麻 里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
サンユウ従業員持株会	174	2.88
柏 木 伸 夫	135	2.25
株式会社りそな銀行	110	1.82
高 島 庄 二 郎	90	1.50

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式（46,496株）を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定め
ます。

公告方法 電子公告により当社ホームページ（<http://www.sanyu-cfs.co.jp>）に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電
子公告をすることができない場合は、日本経済新
聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777（通話料無料）

※受付時間 9：00～17：00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）

IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信していま
す。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録（無料）
いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

